

蜂窩織炎（ほうかしきえん）とは？

皮膚科

ほうかしきえん

蜂窩織炎の症状

- ・発症した所は、赤く腫れて、痛みがあり、触ると熱を持っています。
- ・ひどくなると、全身の発熱を伴うこともあります。
- ・多くが左右どちらかの下腿（ひざから足首まで）に発症しますが、全身のどこにでも発症する可能性があります。



ほうかしきえん

蜂窩織炎の治療

症状が出た部位の手足を水平以上に挙げて安静にすることと、抗生物質の投与になります。

患部の熱感を軽減させるためにクーリングも行います。

炎症が強いと、**入院し、抗生剤の点滴が必要な場合も** ありますので、**早めの受診をおすすめします。**

ほうかしきえん

蜂窩織炎の予防

ほうかしきえん

蜂窩織炎は、小さな傷から細菌が侵入し、発症することが多いです。

例えば、足に水虫ができた時は、小さな傷ができることが多いので、そこから感染し、蜂窩織炎を発症しやすくなると考えられます。

水虫は早めに治療をしましょう。

また、むくみがあると、感染後に悪化しやすいので、むくみがひどい方もかかりつけ医への相談をおすすめします。



★当院では皮膚科で水虫の治療を行っています。
お気軽にご相談ください。

2024.8.9 ● 森下 恵理

日本皮膚科学会認定皮膚科専門医

医療法人社団めぐみ会

田村クリニック2

東京都多摩市落合1-35 ライオンズプラザ多摩センター3F

<https://www.tamuracl2.com/>

予約・お問い合わせ

042-357-3671

※科目により診療時間及び受付時間が異なります。
詳しくはお問い合わせください。

ホームページ

